

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願い致します

昨年はさまざまな想定外のことが起きて、いろいろと考えさせられることが多かった年でした(被害を受けた方には申し訳ないのですが、考える余地がある状態でいられたこともありがたいことだと感じています)。医療という仕事に就いているからできる貢献を改めて考えさせられました。またそれは緊急時だけでなく、日常の生活を普通に過ごすためにも重要

なことだと思います。命には直接関わることが少ない歯科であるからこそ、皆様の生活の中でいかに負担を少なく、できれば歯を意識しないでも過ごしてもらえるか(身体のどこでも意識するようになる時は、困ったときです)、そのために“きのもと歯科”ができることは、**確実な治療・定期検診と情報発信**であると考えています。

今年も“きのもと歯科”ができることを着実に実行して行きます。今年もよろしくお願い致します。

◆◆◆辰年生まれの主な芸能人◆◆◆

【1940年生まれ】王貞治, 津川雅彦, 板東英二, 浅丘ルリ子

【1952年生まれ】三浦友和, 中島みゆき, 桃井かおり, さだまさし, 水谷豊, 浜田省吾

【1964年生まれ】薬師丸ひろ子, 阿部寛, 近藤真彦, 高島礼子, 山口智子, 杉田かおる, 出川哲朗

【1976年生まれ】中谷美紀, 井川遥, 山本耕史, 観月ありさ, 瀬戸朝香, 小雪, 赤星憲広, 内田恭子

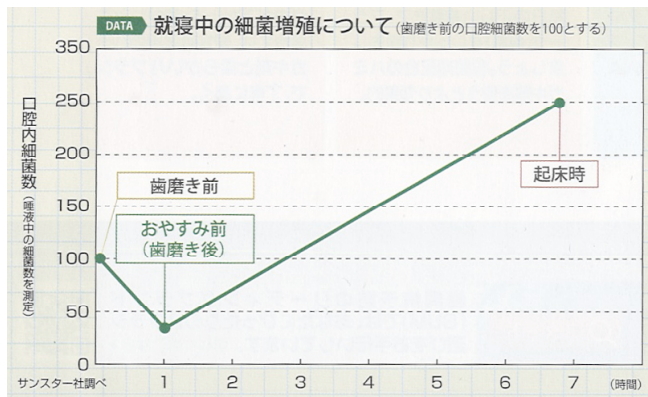
【1988年生まれ】加護亜依, 佐々木希, 黒木メイサ, 新垣結衣, 堀北真希, 大島優子, 田中将大

寝ている間に細菌は増殖する

前号で寝ている間にお口の中の細菌が増えるという話をしましたが、それを表すグラフを見つけましたので、下に示します。寝るときに残っている細菌が多いほど、当然より多くの細菌が増えます。

また、細菌自体が歯を溶かすわけではなく、**細菌が作り出す酸で歯は溶けます**。細菌の層が厚くなればなるほど、酸が歯にべったりとひっつくので、歯が溶けやすくなります。

磨いても細菌はゼロにはなりません、数を減らすことに意味があります。一方、口の中の細菌は外から悪玉菌が入って来ないように守ってもらえます。共存共栄をめざしましょう。 歯科医師 大木 郁子



乳児の受け口

Q. まだ乳児ですが、受け口(かみ合わせが反対)のようですが？

A. 1~2歳頃はかみ合わせが安定してないので、受け口になることがよくあります。2歳半以降になると、乳歯が全部(20本)生えるのでかみ合わせは安定し、受け口が治ることも多いです。

もし、3歳を過ぎても受け口のままだら、将来的には矯正を考えることとなります。かみ合わせの状態や歯並びによって矯正を始める時期は変わってきます。最も早い時期でも、歯科できちんと治療を受けられる年齢(3歳6か月頃)になってからです。かみ合わせや歯並びは、個人によってそれぞれ異なるので、気になるようでしたら、いつでもご相談ください。

歯科医師 松本 麻理子

健康診断

病気は進行する前に治療したり、予防したりすることが重要であるという認識が浸透してきて、さまざまな健診が行われています。ただし、人間ドックに健康保険がきかないように、日本の健康保険は、病気になった人しか使えない保険です。したがって、いろいろな健診には、健保組合や市町村からの補助が出ています。それでも多くの健診は受診率が伸びないことが大きな問題となっています。

その中で吹田市の成人歯科健診は10年以上の歴史があり、受診率も1割を超えてきています。市民の間に定着しつつあり喜ばしいことですが、今後は受診率が高くなることと財政を圧迫すると考えられています(一方、利用者の少ない事業は意味がないとしてカットされることがあります。障害者補助事業などがこれに該当する場合があります)。

吹田市でも来年度以降にさまざまな改革が行われようとしています。身近な問題も多いので、市民のためになる改革が行われるように期待したいものです。

大掃除・忘年会

12月22日(木)の午後にスタッフで診療室の大掃除をしました。ガラス窓から排水溝の中まで1年分の汚れを掃除して新年を迎えられるようにしました(床掃除は1月4日に業者さんがやってくれました)。

続いてその日の夕方、梅田のHEPナビオの水槽のある居酒屋さんで忘年会をしました。

1年間おつかれさまでした!



編集後記

12月頭あたりまでは暖冬かなと思っていたのですが、やはり年末頃から寒さが厳しくなってきました。診療室では半袖でいるのですが、今年は“節電の冬”なので室温には気をつけています。幸い、診療室が南向きなので、陽が出ている日は、暖房を入れなくても十分半袖でいられます(私はですが)。また、多くの患者様とスタッフがいてくれるのも、きっと暖房効果があるのだと思います。まだまだ寒いですが、身体に気をつけて今年もがんばりましょう! 木ノ本

2012.1.15号
Vol.34

